

# まんさく

2019 Autumn | <https://www.niimi-u.ac.jp>



Niimi University



平成31年度  
公立大学法人新見公立大学 新・健康科学部開設式 入学式

新・健康科学部開設式



オープンキャンパス  
学長による新・健康科学部の概要説明



## 【特集】 新・健康科学部スタート 2019オープンキャンパス

各学科から  
健康科学部 健康保育学科  
健康科学部 地域福祉学科  
健康科学部 看護学科  
助産学専攻科・大学院看護学研究科

同窓会だより  
同窓生の近況

研究紹介  
公文学長：がんに対するREIC遺伝子治療薬の開発

学生だより

鳴滝祭

## News & Events

ふるさと納税のお願い、入試日程 ほか

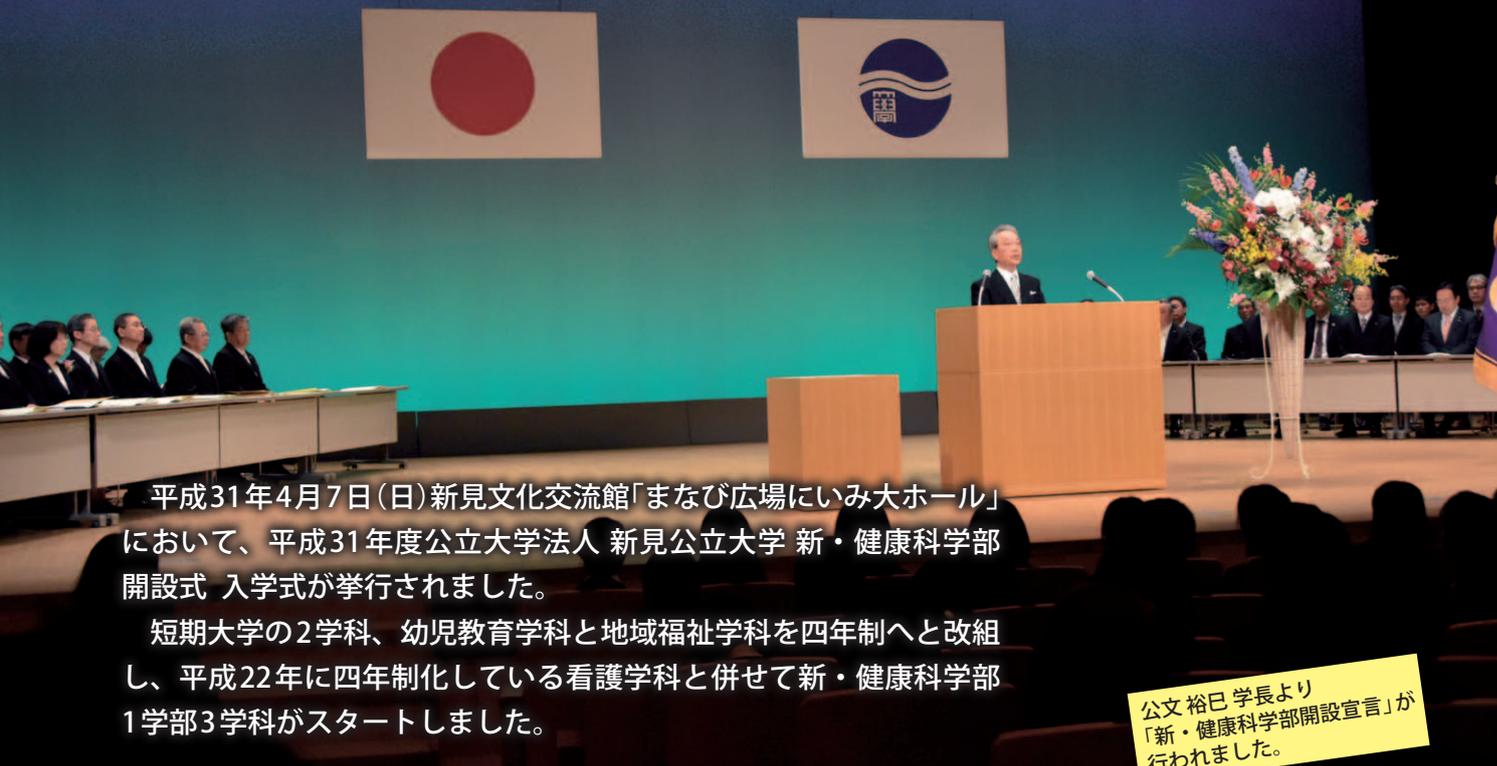


オープンキャンパス  
授業の取り組み紹介（身体表現）



オープンキャンパス  
介護ワーク体験（リフトを使用した移乗介助）

平成31年度  
公立大学法人新見公立大学 新・健康科学部開設式 入学式



平成31年4月7日(日)新見文化交流館「まなび広場にいみ大ホール」において、平成31年度公立大学法人 新見公立大学 新・健康科学部開設式 入学式が挙行されました。

短期大学の2学科、幼児教育学科と地域福祉学科を四年制へと改組し、平成22年に四年制化している看護学科と併せて新・健康科学部1学部3学科がスタートしました。

公文 裕巳 学長より「新・健康科学部開設宣言」が行われました。

# 新・健康科学部スタート



来賓祝辞  
(文部科学省 総括審議官 瀧本 寛 様)



来賓祝辞  
(新見市長 池田 一二三 様)



来賓祝辞  
(新見市議会 議長 仲田 康豊 様)



学歌合唱



在学生歓迎の辞



公文学長による新・健康科学部の概要説明から始まったオープンキャンパス。参加者は熱心に聞き入っていました。

別室での  
中継の様子



満員となった  
全体会場

# 2019 オープンキャンパス

7/15、7/28、8/25の3日間オープンキャンパスを開催しました。  
例年暑さ厳しい時期の開催となりますが、全ての開催日で本会場が満員となり、一部の参加者には別室で会場の映像をご覧いただくほどの大盛況となりました。

来場者を笑顔で  
迎えました

学生スタッフ、教職員も本学の良さが未来の新生に伝わるよう、受付から学科紹介まで明るく元気に対応しました。



学生スタッフによる  
学内案内



和やかな雰囲気  
での茶話会

# 健康科学部 健康保育学科

## にこたんでの活動

幼児教育学科2年次生 今川 瑞穂

保育士を目指して入学し、はや1年以上がたちました。私が特に力を入れた活動は、にこたんでのボランティア「学生スタッフ」のリーダーです。にこたんでは子どもだけでなく、保護者の方とも関わるため、自分にとって子育て支援を幅広く考えるきっかけになりました。学生

スタッフが企画するイベントでは、親子で楽しめる遊びを考える中で「親子の触れ合いや交流を考えることも、保育者の大事な仕事なんだ」と学びました。そして、イベント当日に楽しそうに遊ぶ親子の姿を見て、将来、リーダーの経験を生かして、保育者として親子交流の場を設けられたらいいなと感じました。にこたんでの学びを通して、よりよい子育て支援について追求していきたいと考えてい

ます。



## 学ぶ環境の変化

健康保育学科1年次生 若松 凌太

私が新見公立大学に通い始めてから変わったことといえば周囲の環境です。高校時代、男子が多いクラスで文武両道を目指し頑張ってきた自分にとって、女子が多い健康保育学科でやっていけるのか、入学当初は不安もありました。しかし、子どもたちが大好きで信頼関係が重要な

保育士という仕事を目指すこの学科でそのような心配はらず、すぐに女子陣とも打ち解けることができ、今ではクラスのみならず仲良く楽しい毎日を過ごしています。男子5人でも肩身の狭い思いをせず伸び伸びと個性を發揮できる環境に巡り会えたことをとても嬉しく思います。これから実習も入ってくるのでより一層勉学に集中し、自分の理想とする保育士になれるように頑張っています。

## 施設実習を終えて

幼児教育学科2年次生 倉内 優季

2年生になり、障がい者支援施設での実習をさせていただきました。今まで、障がいのある方と関わったことがあまりなかったため、不安を抱えながら実習が始まりました。しかし、利用者の方のことを知っていくうちに、関わるのが楽しいと感じるようになり、利用者の方からたくさん元気をもらいました。施設実

習を通して障がいを持っていても、こんな風に人を元気にする力があるということを感じました。また、職員の方の関わり方を見させていただく中で、利用者の方との距離感は近ければよいというものではなく、一人ひとりを理解して適切な関わり方を考えていくこと、自立と見守りのバランスを考えながら支援を行うことの大切さを学びました。今後は、実習での学びを生かして、一人ひとりを尊重し、安心感を与えられる保育者になれる

よう、さらに理解を深めていきたいと思っています。



## 本を読む楽しさを伝えたい

健康保育学科1年次生 鈴木 夏帆

私は毎週火曜日に西方小学校の読み聞かせボランティアに参加しています。大学の図書館や新見中央図書館で、学年に合った本や季節に合った本を選びます。梅雨の時期に読んだ「はれときどきぶた」は読んでいる最中にクラスで笑いが起こり、楽しんでもらうことができ、嬉しかったです。本を読み終わった後にはクラ

スみんなが手を挙げて本の感想を発表してくれます。面白かった場面についての感想を言う子や主人公の立場に立って感想を言う子など、一人ひとり感じることは様々で、本の奥深さを感じました。この活動を通して、ページをめくるタイミングや興味を引き付ける読み方など、読み聞かせの難しさも実感しています。私は本が大好きなので、小学生のみんなにも本が好きになってもらえるような読み聞かせをしていきたいです。

# 健康科学部 地域福祉学科

## 「基礎ゼミナールC」開講

教授 山内 圭

四年制となった地域福祉学科では、カリキュラムも一変しました。1年次開講の「基礎ゼミナールC」では、「これから地域福祉専門職を目指す1年次の導入教育として、地域を理解する基礎的アセスメント能力や地域住民とのコミュニケーション能力の涵養」を目的として掲げています。地域の方々の協力を得ながら学生が学ばせていただき、さらに地域の活性化にも幾分か貢献したいと思っています。

令和時代が始まりゴールデンウィークが明けた5月8日、学内オリエンテーションを行い、51名の学生を5つのグ

ループに分けました。そのうち、市内高尾地域には3つのグループが、市内高瀬地域には2つのグループがお世話になります。

5月15日、市外出身の学生にも4年間学ぶ新見の地を、新見出身の学生にも地元のことをさらに知ってもらうため、新見御殿町まち歩きボランティアの方々と案内のもと、御殿町地域のまち歩きを行いました。

高尾地域で学ぶグループのメンバーは地域のリーダーを招いてお話を伺ったり、地域のことを調べた上でまち歩きを行ったり、交流会に参加させていただきました。7月3日には、水鉄砲作りの交流会を行いました。

高瀬地域でも同様に、地域のことを調

べ、踏査を行い、蕎麦の種まきや刈り取り、蕎麦打ちを一緒にさせていただいたり、地域行事に協力させていただいたりすることになっています。7月31日に蕎麦の種まきを行った永瀬朱里さんは、「暑い中での作業ではあったけれど、地元の方の優しさや、高瀬地区の自然に触れることができ、とても貴重な体験でした。次の収穫体験もすごく楽しみです」と感想を語ってくれました。



第28回

母校自慢

## 世界で活躍できる 立派な日本人を育てる。

地域福祉学科1年次生 妹尾 歩美

これが、私の母校である岡山学芸館高校の建学の精神です。それを目指すためにどのような活動を行っているのか、紹介させていただきます。

母校は、生徒や先生を問わず、挨拶を交わす声で溢れています。挨拶や礼儀作法の指導に力を注いでいるからです。私も学校生活を送る中で挨拶する習慣が身に付き、卒業後も、積極的に挨拶ができるようになりました。また、日本人としての精神、正しい歴史を学び、世界に誇れる日本の一面を知ることができました。

母校には、多くの留学生がいたので、グローバルな価値観を学ぶことができました。さらに、SGHの指定校として発展途上国の貧困や教育の問題について学ぶことで、多角的な視点から物事を見る力を身に付けられました。

勉強と部活動の両立をしている生徒も多く、私もその中の一人です。演劇部と美術部に所属していましたが、個性的で優しい部員や顧問と共に過ごした時間は、全てかけがえのない思い出です。

このように、岡山学芸館高校ではたくさんの活動を行っています。母校で身に付けた知識と経験を、大学でも生かしていきたいです。

※ SGH：スーパー・グローバル・ハイスクール

# 健康科学部 看護学科

## 開設10年目の 新たな看護学科

看護学科長 上山 和子

看護学科は、2019年4月に開設10年目を迎え、定員を80人に増員しました。また、2019年度より1学部3学科体制となり、教育目標に掲げている地域共生社会における看護専門職として、看護教育学モデル・コア・カリキュラムを取り入れ、各世代の健康支援に携わっていく

看護職を育成します。

カリキュラムの大きな特徴として共通科目（健康科学、にいみの保健医療福祉、チームアプローチ演習など）が配置され、3学科が同じ講義室で学び、多職種連携について1年次から考える科目構成となっています。また、定員が80人になり、チューター制（学生をグループ分けし、学修支援を行う）を導入し、細や

かな支援体制を取り入れて地域で活躍する看護専門職の育成を目指します。



## 大学生活について

看護学科2年次生 安原 早希

私は、倉敷市内にある自宅から約2時間かけて通学しています。1限（9時20分）から5限（18時10分）まで講義がある時は、朝6時に起きて通学し、21時前に帰宅します。電車の中では、終わっていない課題を行い、疲れている時は睡眠をとるなどして有意義に過ごしています。2時間の通学時間もあつという間に時間が過ぎ、楽しく通学すること

ができています。また、土日はアルバイトをする時間も確保でき、良い社会勉強ができています。

2019年4月から1学部3学科体制に変わり、始業時間が20分遅くなりました。昨年は、今より1時間早く家を出ていたため、体に負担を感じていましたが、始業時間が遅くなったことで朝の時間にゆとりを持つことができ、通学しやすくなりました。始業時間の変更もあり、妹も本学への進学を決めました。現在一緒に通学しており、充実した毎日を過ごす

ことができています。



## 3学科共通科目を受講して

看護学科1年次生 土肥 香澄



私は、3学科の共通科目である「健康科学I」を受講し、看護や保育、地域福祉など学科の枠を超えた、それぞれの分野に携わる方の実体験などを聞くことができました。この講義では、心身の健康課題の理解を深め、3学科それぞれの視点から健康課題の解決に向けた試みや社会システムに関する見識を共有できま

した。現在学修している看護の専門知識・技能を、将来現場で十分に発揮するためには、異なる専門性を持つ分野の人と対話し、多角的な視点で考察する能力を高めることが求められると思います。各職種の相互理解を深め、情報共有を行うことの重要性を念頭に置き、今後医療チーム内の保健・医療・福祉それぞれの職種が専門性を生かし、健康課題解決に向けた実践につなげたいと思います。

## 救命救急医療論を終えて

看護学科4年次生 加藤 麻子



救命救急医療論の授業で、3年生前期に救急看護、後期に災害看護を学びました。災害看護の演習では、新見市で災害発生した想定でグループワークを行い、その中で私は災害が起こってから時間経過によって看護職に必要なとされる対応や様々な年代に合った支援のあり方を学びました。その中でも自分が担当した、災害現場の超急性期の事例が最も印象に残っています。災害が起こって間もなくの場面で、複数の傷病者を前に、ど

のように優先順位を決めて人命救助を行うかをグループでよく話し合っていました。しかし、実際の災害現場では考える時間の余裕がないため、混乱した状況の中でより多くの命を救うための冷静な判断がいかに重要かを知ることができました。災害がいつ起こっても被災地で力になれるよう、冷静さと一人ひとりに寄り添う気持ちを日頃から大切に看護師でありたいと思うようになりました。

# 助産学専攻科・大学院看護学研究科

## 助産学実習を経験して思うこと

助産学専攻科 後藤 千裕

私は現在、県南の病院で助産学実習を行っています。実際に10例程度の分娩介助をしなければなりません。産婦さんの、様々な背景やお産への思いだけでなく、それぞれの特徴を理解して計画を立案し、ケアを行います。安全で安楽なお産のために、自分ができることを考え、判断し、実践することが難しく、日々課題が挙がります。しかし焦らず、一つずつできることを増やしていこうと思います。関わらせていただく産婦さんやご家族に感謝し、学びを深めていきたいと思っています。



## 助産学実習が始まって思うこと

助産学専攻科 大久保 咲希

4月に助産学専攻科に入学し、7月からいよいよ実習が始まりました。講義は自分の興味のあることばかりで楽しい毎日でしたが、実習となると、命に関わる責任もあり緊張の毎日です。しかし、



命懸けで出産する産婦さんに寄り添い、生命の誕生の瞬間を介助できることはとてもやりがいを感じています。まだまだ始まったばかりですが、今後も、受け持たせて頂く産婦さんや家族への感謝を忘れず、一生懸命実習に取り組んでいきたいと思っています。

## 修士論文に向きあって

大学院看護学研究科 相木 恵美



大学院での学修課題の中で特別研究に取り組み、今は研究のまとめ、修士論文の作成に取り掛かっています。研究テーマを決めて、必要な文献を検索しまとめ、研究目的、研究の意義について考える。その一つ一つの段階を進めていく過程でも多くの気づきや学びがありました。1つの研究テーマに対しじっくりと

向き合い、さまざまな視点から考えることで新たな発見や気づきを得ることができました。今では新しいことが発見できることが楽しく感じることもあります。そのなかでも研究を一緒に取り組んでいる仲間の存在は、私の支えにもなっています。お互いに励まし合い語り合うことで多くの刺激を受けることも学びとなっています。仲間とともに修士論文の完成まであと少し頑張っていきたいと思っています。

## 大学院に進学して

大学院看護学研究科 安原 奈那

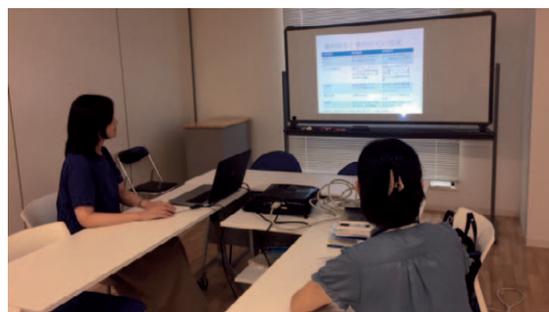
私が新見公立大学大学院の受験を意識したきっかけは、前職場で出会った先生に受験への背中を押していただいたことです。そこから、大学院について・看護学を深く学ぶということについて考え、悩みました。そして、今まで経験してきた看護実践を理論と結びつけ、多角的に看護をみることができるようになりたい

と考えました。

現在は、看護の専門職として各分野の教員からマンツーマンで授業を受ける経験は、とても楽しく実り多い時間です。

今後、研究的な視点でものごとをみる事、中山間過疎地域での患者とその家族の課題、疾病を抱えて療養継続する在宅生活者への支援の課題、在宅と医療の社会資源としての連携、それ

を支える専門職間のマネジメントについての知識を深めて私なりの知恵を身に付けていきたいです。



# 同窓会 だより

同窓生の近況を  
報告します。



同窓会事務局からの  
お知らせ

## 同窓会開催のお手伝いをします

卒業生の皆様と同窓会を開催される際、大学がそのお手伝いをさせていただきます。

学部・学科と卒業年度及び開催時期などを本学学務課へお知らせいただければ、同窓会の案内を発送し、出欠を取りまとめて、同窓会幹事へ連絡をします。同窓会を企画されている幹事の皆様、ぜひご連絡をください。

### 新見公立短期大学 看護学科 26期生

堂上 洋未さん

**新** 見公立短期大学を卒業して、もう11年。同窓会事務局にもご協力いただき、約9年ぶりに、岡山市内で平成最後の同窓会を開催することができました。結婚し子育てに奮闘している人、看護師として病院や施設等で、保健師として行政や企業で頑張っている人、研究や人材育成など教育現場で働こうとしている人など、さまざまな場で同窓生が活躍していることが嬉しく、勇気をもらい、励まされました。久しぶりの再会でしたが、話してみると中身は学生時代のあの頃のまま。思い出話に花が咲き、

「時間が足りないくらいだね」と別れを惜しみました。残念ながら、お世話になった先生方にご出席いただくことはできませんでしたが、代わりにビデオレターを届けてくださいました。先生方からのメッセージと懐かしい大学内の風景映像に、歓声をあげながらとても楽しい時間を過ごすことができました。幹事をはじめ、同窓会に携わってくださった皆様に感謝しております。ありがとうございました！



### 新見公立短期大学 地域福祉学科 6期生

道繁 由香理さん

**3** 月16日(土)に新見公立短期大学地域福祉学科6期生の同窓会を行いました。早いもので卒業して今年で16年が経ち、同窓会も今回で3回目の開催でした。

当時お世話になった先生や学務課の方をお招きして、いつもの顔ぶれに加え、初めて参加してくれた友人もいて16年ぶりの再会を喜び合いました。あの頃を振り返りながら、お互いの近況報告をしたり、愚痴をこぼしたり、励ましあったり、懐かしさから学生の頃に戻ったかの様な感覚で、介護の話や世間話は尽きるこ

とがなく、本当に楽しい時間を過ごすことができました。

お忙しい中お越しいただいた先生方、元学務課の方、本当にありがとうございました。また、遠方より参加してくれた同窓生の皆さんとも、久しぶりに会う事ができて本当に良かったです。

今回は残念ながらご参加いただけなかった先生方、同窓生の皆さん、次回開催時にお会いできるのを楽しみにしています。



### 新見公立短期大学 地域福祉学科 10期生

守田 裕子(旧姓：東郷)さん

**令** 和元年5月4日(土)、新見市内のカフェにおいて、新見公立短期大学地域福祉学科10期生の同窓会を行いました。卒業して今年で12年が経ち、初めての同窓会となりました。

当日は、同窓生15名とお世話になった先生方や元学務課の方が参加して下さり、18名で12年ぶりの再会を喜び合いました。学生時代の話、近況報告、仕事の話、家族の話など、話は尽きることはなく、短い時間ではありましたが、あの頃に戻ったかのよう

に楽しく濃い時間を過ごすことができました。

お忙しい中、お越しいただいた先生方、松原さん、参加してくれた同窓生の皆さん、快く送り出してくれたご家族の方に心から感謝申し上げます。

今回は残念ながらご参加いただけなかった先生方、同窓生の皆さん、ぜひ次回お会いできるのを楽しみにしております。



### 同窓会評議員会について

新見公立大学・短期大学同窓会評議員会を、大学祭「鳴滝祭」に合わせ5月18日(土)に開催いたしました。ご出席いただいた役員の方々には、事業計画等についてご審議いただきました。また、評議員会後の歓談では学長や先生も交えて、大学の近況などの話題で盛り上がりました。評議員からは「男子学生が近年すこく増えた！」などの感想があり、四大化された大学の将来に期待を寄せる声がありました。

### 「ケアネットにいみ」からのご案内 (地域福祉学科卒業生の会)

日時：2019年11月2日(土) 13:30~15:30(予定)

場所：まなび広場にいみ3階市民学習室

講演：「在宅を支えるという事の重要性～困難事例から見えてくるもの～」

講師：荒川泰士氏(高知県ホームヘルパー連絡協議会会長)

パネリスト：地域福祉学科卒業生3名

荒川氏の講演や卒業生によるパネルディスカッション等を予定しています。

詳細が決まり次第Facebookにて案内を致しますので、ぜひ一度「ケアネットにいみ」を検索してください。

# がんに対するREIC遺伝子治療薬の開発

学長 公文 裕巳



日本人の2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで死亡している現在、体に優しい新しいがん治療薬の開発が待望されています。がんは遺伝子の異常で発生することから、将来、究極の治療法として、早期から遺伝子を修復することが可能になる

かもしれません。しかし、現時点では複数の遺伝子異常により発生するがんは、一つの遺伝子を修復しても治すことはできません。そこで、がんに対する遺伝子治療では、治療に応用できる特別な遺伝子を使用して、①がん細胞を選択的に死滅（自殺）させる方法と、②抗がん免疫を活性化してがんを攻撃する方法とが世界中で検討されています。

岡山大学泌尿器科の教授時代に、アデノウイルスを遺伝子の運び屋として使用する遺伝子治療の開発に取り組み、2001年からは前立腺がんを対象として、①と②の方法の安全性と効果を確認する国内初の臨床研究をそれぞれ実施してきました。2004年からは、難波正義先生（本学前学長）が岡山大学細胞生物学の教授時代に発見されたがん抑制遺伝子REIC（レイク）を使用する遺伝子治療（Ad-REIC）の開発に取り組んでいます。

2006年に、「ナノバイオ標的医療の融合的創出拠点（ICONT）の形成」事業が、国の大型研究プロジェクトに採択され、Ad-REICの研究開発は飛躍的に進展し、全く新しい作用メカニズムが明らかになりました。しかし、新薬を創るということは、有望と考えられる候補物質が実用化に成功する確率が3万分の1、開発期間が10年以上のハイリスク事業への挑戦となります。現在も、岡山大学ICONTのセンター長（特命教授）、岡山大学発ベンチャー「桃太郎源社」（源は遺伝子Geneに由来）の学術担当取締役を

兼任して開発を続けています。

『Ad-REIC』はいわゆる『魔法の弾丸』として不思議な力を発揮します。分かりやすくイラストで説明すると、がん組織（現在の鬼）へ注入すると、①“がん細胞を選択的に死滅”させるだけでなく、②がん抗原（がんの目印）を標的としてがん細胞だけを攻撃する鍛えられたリンパ球（奇兵隊軍団）や生まれながらにがん細胞を攻撃するナチュラルキラー細胞（桃太郎の分身軍団）を誘導して“抗がん免疫の活性化”による全身効果を発揮します。

初期の第一世代の製剤で前立腺がんに対する安全性と効果を確認し、現在は、効力を増強した第二世代の薬剤を使用して開発を進めています。副作用が殆どないこと、がんの種類にかかわらず効果を発揮すること、ならびに昨年ノーベル賞を受賞した本庶佑先生が開発した抗がん免疫治療薬（オプジーボ）との併用で高い相乗効果を示すことが動物実験で確認されています。現在は、悪性胸膜中皮腫、肝臓がん、悪性脳腫瘍などに対する単剤での臨床試験のほかに、9月からは、悪性胸膜中皮腫を対象として、オプジーボとの併用での臨床試験が米国で開始されています。

いまだ道半ばではありますが、多くの方々からの支援に感謝しつつ、『夢は諦めない限り夢であり続ける！』を信条として挑戦を続けています。



## 客員教授・客員准教授紹介



客員教授  
**中村 満紀男**  
(なかむら まさお)  
元)日本特殊教育学会理事長、日本の障害児教育の第一人者

日本の特別支援教育の在り方を考えるために、欧米先進国・途上国、そして日本の歴史と現状から、日本の社会と文化に合った先進国のモノマネでない障害児教育を探究しています。  
研究テーマ 障害原理論  
主要著作『日本障害児教育史[戦前編]』（2018年、明石書店）『優生学と障害者』（2004年、明石書店）  
現職：筑波大学名誉教授、福山市立大学名誉教授  
略歴：東京教育大学大学院教育学研究科特殊教育学専攻博士課程 単位取得満期退学、筑波大学（博士：教育学）、筑波大学大学院人間総合科学研究科 教授、福山市立大学教育学部児童教育学科 教授



客員教授  
**藻谷 浩介**  
(もたに こうすけ)  
里山資本主義の提唱者

地域の特性を多面的に把握し、地域振興や人口問題に関して精力的に研究、特に、農山村の豊かな資源を生かしたライフスタイルを里山資本主義と提唱し、持続可能な地域の未来創りを提案しています。  
現職：株式会社総合研究所 主席研究員（会社に席のない単年度更新制職員）、株式会社政策投資銀行 地域企画部 特任顧問（非常勤）など  
略歴：東京大学文科1類入学→88年法学部私法コース卒業、米国NY市 コロンビア大学経営大学院（ビジネススクール）卒業（経営学修士=MBA）、日本開発銀行（現株式会社政策投資銀行）入行（2011年末まで正社員として在籍）  
著書：デフレの正体、里山資本主義（KADOKAWA）、しなやかな日本列島のつくりかた、和の国富論（新潮社）、世界まわちど地政学（毎日新聞出版）など多数



客員准教授  
**熊原 保**  
(くまはら たもつ)  
実践的地域共生社会創りの第一人者

里山人間主義を実践し、子どもからお年寄りまで、障害の有無にかかわらず、全ての人が自在に利用できる「小規模・多機能・柔軟対応」の福祉拠点幅広く展開しています。  
現職：社会福祉法人優輝福祉会（ゆうきふくしかい）理事長、障害者支援施設ともいきの里 施設長、一般社団法人備北地域生活支援協会 理事長、広島県知的障害者福祉協会 人権倫理部会 副部会長、全国身体障害者施設協議会 地域生活支援推進委員会 委員  
略歴：駒沢大学社会学科社会福祉専攻卒業、社会福祉法人東城有栖会 生活指導員、社会福祉法人優輝福祉会高齢者福祉総合センターユーシャイン 所長、社会福祉法人十津川村社会福祉協議会 十津川村特別養護老人ホーム高森の郷 施設長



客員准教授  
**吉田 俊明**  
(よしだ としあき)  
健康づくりのための運動指導・介護予防のエキスパート

「健康寿命延伸を妨げる主疾患と予防運動」について、糖尿病におけるインスリン感受性・介護予防支援における機能的筋力・認知症予防改善等、運動における科学的知識を学ぶことでの優位性を伝えたいと考えています。  
現職：株式会社山陽レイスポート 執行役員・取締役健康増進課室長、げんき広場にいみ 健康増進推進施設室長、日本オリンピック委員会（JOC）強化スタッフ、日本健康運動士会 理事、日本スケート連盟 強化コーチ、岡山県スケート連盟 副理事長  
略歴：福岡大学体育学部→岡山商科大学商学部卒業、岡山県立早島養護学校教員、株式会社山陽レイスポート 専務取締役  
特記事項：スピードスケート世界選手権に日本代表として3回出場、2013年健康運動指導関係功労者として「厚生労働大臣感謝状」、2014年日本体力医学会健康科学アドバイザー・終身称号

# 学生だより

## 子どもたちと共に成長して

健康科学部看護学科3年次生 隅 奏子、本田 瑞季



私たちは、新見市教育委員会主催の「にいみ塩から子育て事業」に昨年参加したことをきっかけに、今年度から「ちびっ子パワー発展プロジェクト(通称ちびデポ)」というサークルを立ち上げました。

今年の塩から子事業には企画から加わり、部員17名と参加させていただきました。学生の主な役割は子どもたちの見守りと体験補助です。最初は、どの程度介入すべきか戸惑いましたが、予想以上に子どもたちは安全に色々な体験をこなし、その姿から私たちも徐々に関わり方を身に付けることが出来ました。

ちびデポは、他にも小学校や公民館、障害者地域活動支援センター等で活動をさせていただいています。活動を通して、子どもたちの発達段階に合わせた関わり方等を学んでいます。また、子どもたちと学生で立場は違えども、共に関わりを通して成長ができていくこと実感しています。

## プティ・コンセール

幼児教育学科2年次生 浮田 佳歩、大畑 茉央

プティ・コンセールは、学生たちが主体で行う音楽発表会です。発表内容はピアノ連弾や合唱・合奏などさまざまです。これらの発表は学生たちが一から構成したもので、小道具なども学生たちの手作りです。発表までに先生からの指導を受け、学生は練習を積み重ねることによって生まれる気づきなどをもとに、よりよい演奏をするためにがんばります。一年前のプティ・コンセールでは、人前に立つことすら慣れておらず、先生からの指導そっこのけで台詞を噛まずに言おうという思いだけで舞台上に立っていました。それからの一年は実習やボランティア活動などに励み、さまざまな経験を積んだことにより、今度は失敗を恐れない心を身に付けて再びプティ・コンセールの舞台上に立つことができました。

今年は、新見公立短期大学閉学の節目ということで、2年生全体で学歌を合唱しました。自主練習を何度も行い本番では皆が心をひとつに歌うことができ、全員が納得のできる合唱になりました。新見公立短期大学は今年で閉学となりますが、プティ・コンセールがこれからも受け継がれることを願っています。



## 高齢者ボランティアに参加して

地域福祉学科2年次生 正岡 洋平



私は7月28日にグループホーム花みずきで開催された夏祭りにボランティアとして参加しました。ボランティアに参加した友達と一緒に焼きそばを焼いたり、でき上がった食べ物を容器に入れてたりして屋台の手伝いをしました。屋台の準備をしていると急に雨が降り出し、夏祭りができるか心配になりましたが、グループホームの皆さんの念が通じたのか、雨はすぐに上がり無事開催することができました。夏祭りが始まると地域の皆さんも多く来られ夏祭りは大盛況となりました。

グループホーム花みずきの屋台では焼きそばの他に綿菓子やそうめん、ラムネなどが売られ、夏祭りの終盤には利用者さんにスイカ割りを行ってもらうなど計画されており、利用者さんが夏を感じてもらえるように多くの工夫がされていました。施設の職員さんは施設で生活していると利用者さんが季節感を感じにくいので、イベントがあるときは季節に合ったものを準備し、非日常を感じてもらうことが重要であると言われていました。

今回、実際に施設の夏祭りに参加したことで、改めて季節感や非日常の工夫について学ぶことができました。大学の講義で季節感を出すことや、非日常の重要性を聞いていましたが、実際にボランティア行くことで、職員がどのような工夫をしているのかを見ることができとても勉強になりました。今回学んだことを今後生かしていけるように頑張っていきたいと思います。

## サークル紹介

### 写真部

写真部部长：村尾 名奈子(幼児教育学科2年次生)

私たちは山内圭先生のご指導のもと、部員7人で活動しています。主な活動内容は、季節ごとの写真撮影や鳴滝祭での写真展示などです。今年の鳴滝祭では、「フリーテーマ」と「新見市内」の2つのテーマに沿った写真を1枚ずつ撮り、食堂に展示しました。また、ポストカードも配布しました。写真部は創部して間もない部活ですが、色々な活動に挑戦していきたいと思っています。



# News & Events

学内のお知らせ  
イベント案内

## 新見公立大学ふるさと育英奨学金で 学生を支援しています。

本学では、新見市の「ふるさと納税（ふるさとにのみ応援基金）」制度による寄付金を財源として、本学独自の給付型奨学金「新見公立大学ふるさと育英奨学金」を2019年度4月から運用しています。この給付型奨学金を活用して、看護・保育・福祉を学びたいと考えている優秀な学生を応援し、保健福祉の人材を育成したいと考えています。

皆さまからの母校に対する温かい寄付金が、保健福祉をリードする人材の誕生を支えます。母校で学ぶ後輩の夢を応援してください。

2019年9月末現在、ふるさと納税制度を利用し、本学に対し194件、計7,065,971円のご寄付をいただいています。誠にありがとうございました。引き続き、多数の皆さまからのご協力をお願い申し上げます。

【お問合せ先】新見公立大学・短期大学事務局学務課 TEL: 0867-72-0634

### ふるさと納税

ふるさと納税は、自分と関わりが深い地域を応援したいという思いを活かすため、地方公共団体に対して寄付を行った場合に、所得税と個人住民税が軽減される制度です。

### お申し込み方法

以下の方法でお申し込みいただけます。

#### A. インターネットからお申し込み

○新見市ホームページの「電子申請サービス」からお申し込みできます。以下のアドレス

新見市ふるさと納税ホームページ

<https://www.city.niimi.okayama.jp/kurashi/>

[kurashi\\_detail/index/1259.html](https://www.city.niimi.okayama.jp/kurashi_detail/index/1259.html)

○ふるさと納税サイト「さとふる」からお申し込みできます。以下のアドレス

さとふる新見市ふるさと納税ホームページ

<https://www.satofull.jp/city-niimi-okayama/>

#### B. 郵送、FAX、メールでのお申し込み

学報「まんさく」に同封しました「新見市ふるさとにのみ応援基金 寄付申出書」に必要事項を記入してください。その際に寄付金の使途目的を『ゆたかな「文化のまち」』に指定し、「うち新見公立大学・短期大学」に寄付金額を記入してください。記入後は、郵送（岡山県新見市新見310-3）またはFAX（0867-72-6243）またはメール（kikaku@city.niimi.lg.jp）で新見市役所企画政策課へ送ってください。

## 2020年度入試日程

### 【大学】

#### ■健康科学部

入試区分	実施学科	出願期間	試験日
推薦	地域福祉学科	2019 11/ 7(木)～11/15(金)	2019 11/30(土)
	健康保育学科 看護学科	2020 1/20(月)～ 1/25(土)	2020 1/30(木)
一般(前期日程)	全 学 科	2020 1/27(月)～ 2/ 5(水)	2020 2/25(火)
一般(中期日程)	地域福祉学科		2020 3/ 8(日)
一般(後期日程)	健康保育学科 看護学科		2020 3/12(木)

#### ■助産学専攻科

入試区分	出願期間	試験日
一般	2019 10/28(月)～11/5(火)	2019 11/16(土)

### 【大学院】

#### ■看護学研究科

入試区分	出願期間	試験日
一般・社会人特別 (後期)	2020 2/10(月)～2/18(火)	2020 2/29(土)

※大学院の後期日程については、前期日程で定員を満たさなかった場合にのみ実施します。実施する場合は10/24(木)以降に本学ホームページ上でお知らせします。

## 行事日程

日 程	内 容
2019/10/11(金)	看護学科 「卒業研究発表会」
2019/12/14(土)	幼児教育学科 「ゆめのほけっと」
2020/ 2/13(木)	幼児教育学科 「総合研究発表会」

## 奨学金制度

名 称	種別	採用人数	金額	内 容
新見公立大学 ふるさと育英奨学金 (申請先:新見公立大学)	給付	健康保育学科4人 地域福祉学科4人 看護学科5人	10 万円 (年 額)	本学学部入学生の内、入試成績が優秀であり、かつ本学が定める家計基準等を満たした学生に給付します。申請に基づき、入試種別ごとに選考します。
新見公立大学 奨学金 (申請先:新見公立大学)	貸与 (無利子)	制限なし	30 万円 (上 限)	本学在学が国内外の研修等に参加する場合、又は緊急な事情等により経済的に困窮した場合に貸し付けます。卒業までに返還する必要があります。
新見市看護学生 奨学支援金給付制度 (申請先:新見市)	給付 (条件付)	4人程度 (新入生・在学生含む)	10 万円 (月 額)	新見市内の医療機関等で、看護師として勤務しようという意思のある看護学生に給付されるものです。卒業後、新見市内の医療機関等に4年以上勤務する必要があります。(市長が認める場合は、新見市内の医療機関等に4年以上勤務するまでの間、新見市外の医療機関等に5年以内従事することができます。)
新見市介護学生 奨学支援金給付制度 (申請先:新見市)	給付 (条件付)	4人程度 (新入生・在学生含む)	5 万円 (月 額)	新見市内の介護事業所等で、介護福祉士として勤務しようという意思のある介護学生に給付されるものです。卒業後、新見市内の介護事業所等に3年以上勤務する必要があります。

# まんさく

2019年10月号  
Vol.58 (Autumn)



編集  
後記

令和元年、新しい元号となった年に、新見公立大学 新・健康科学部1学部3学科がスタートしました。本学は、昭和55年に新見女子短期大学として開学し、昭和・平成・令和と躍進し続け、来年には40周年を迎えようとしています。

新・健康科学部では、4月に180人が入学し、本学の新たな1ページが始まりました。3学科共通科目の授業が始まり、1年生の180人が合同講義室で同じ講義を受けており、休憩時には講義室を移動している学生をよく見かけるようになりました。看護学科も定員が20人増加し、看護実習室を利用する学生の多さを感じています。また、学術交流センターの北側では、新校舎の建設も進んでおり、少しずつ学内も変わってきていることを実感しております。さらに、大学の四大化に伴い、教員数も約70人となりました。教職員一丸となり、中山間地域にある魅力ある大学に進化できるよう、本学の使命である各専門職を育成する教育と研究、地域貢献活動に力をより注いでいく所存でございます。

さて、本年もオープンキャンパスが3回開催され、例年より多くの方にご来場いただきました。参加者の保護者に、卒業生の方もおられ、当時の教員に声をかけてくださっており、感激いたしました。御子息・御息女と一緒に母校に帰ってきてくださることを大変嬉しく、この繋がりがこれからも広がるよう願っております。

今後とも、卒業生の皆さま、地域の皆さまには、変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。(山本)

発行

新見公立大学・新見公立短期大学

〒718-8585 岡山県新見市西方1263-2

TEL.0867-72-0634

FAX.0867-72-1492

URL: <https://www.niimi-u.ac.jp/>

編集

広報委員会

広報部長

梶本 佳照

広報委員(50音順)

佐藤 伸隆 高橋 彩 棚田 裕二  
羽場 裕倫 久恒 拓也 平田 智子  
藤田 彩見 山根 智幸 山本智恵子

人事異動

ごくろうさま

〈退職〉

看護学科 准教授 北村 亜希子  
" 助教 中井 かをり

〈転出〉

事務局次長・総務課長 宮崎 忠司  
学務課 主査 若本 美津子  
" 主査 敦田 伸吾

どうぞよろしく

〈新採用〉

健康保育学科 教授 松本 好生  
" 准教授 広瀬 綾子  
" 講師 立浪 朋子  
" 講師 本渡 葵  
" 講師 竹下 可奈子  
" 助教 久恒 拓也  
" 助教 高橋 彩  
地域福祉学科 教授 和田 美智代  
" 特任教授 八重樫 牧子  
" 特任教授 小山 正善  
" 准教授 川島 典子  
" 准教授 鄭 丞媛  
" 准教授 井上 信次  
" 講師 増井 香名子  
" 助教 泉 宗孝  
" 助手 木下 由梨枝  
看護学科 特任教授 郷木 義子  
" 助教 西川 由貴子  
" 助教 平田 知子  
" 助手 難波 香  
" 助手 西村 美紗希

〈転入〉

総務課 事務局次長・課長 田枝 修己  
学務課 主査 山根 智幸  
" 主事 岡本 侑記  
" 主事 吉尾 大輝

〈就任〉

副学長・学部長 小田 慈

〈昇格〉

健康保育学科 教授 岡本 直行  
" 准教授 芝崎 美和  
" 准教授 渡部 昌史  
地域福祉学科 教授 松本 百合美  
看護学科 教授 栗本 一美  
" 助教 井上 弘子  
総務課 主任 羽場 裕倫  
学務課参与・課長 山本 里香  
学務課 主任 真治 将史

〈異動〉

地域福祉学科 教授 山内 圭

出身都道府県別在籍者数 (2019年5月1日現在)

(単位:人)

	大 学										大学院				短期大学	計																
	健康保育学科	地域福祉学科			看護学科	助産学専攻科	看護学研究科	幼児教育学科	地域福祉学科	健康保育学科	地域福祉学科	看護学科	助産学専攻科	看護学研究科			幼児教育学科	地域福祉学科	計													
		1年	2年	3年																4年	1年	2年	2年	2年								
北海道	1	1		1	1											1	5	広島県	3	4	11	9	8	10					7	4	56	
宮城県					1													1	山口県	1	1	8	2	2	1					1	4	20
茨城県				1	1													2	徳島県	2	1	2	5		4						14	
石川県			1		1													2	香川県		5	2	1	1					1		10	
福井県	1				1													2	愛媛県	2	6	3	8	2	1			14	2	38		
長野県	1				2													3	高知県			2		1	1			1		5		
岐阜県				1	1													2	福岡県		1			2	2				2	7		
静岡県	3	1		1	1	2												7	佐賀県				1	1	1					2		
愛知県	1			1	2	1												6	長崎県	1		3	1	2	1						8	
三重県					1													1	熊本県	1	2				1				1	5		
京都府	1	1	1	2	1	4												4	大分県			1	2	2						5		
大阪府				2	1	1												4	宮崎県	2	2		1		1			2		8		
兵庫県	5	2	12	13	14	7												11	鹿児島県	1	1		1	1						4		
和歌山県				1	1	1													1	沖縄県					1						1	
鳥取県	1	3	7	1	2	3												3	総計	47	51	82	64	63	61	5	1	8	55	39	476	
島根県	4	6	5	7	5	5												3												38		
岡山県	16	13	19	5	10	13	5	1	8	7	7	104																				
内)新見市	5	3	6	1	2	2	4		2	3	1	29																				

電車通学者の人数 (2019年5月1日現在)

(単位:人)

		健康保育学科		地域福祉学科		看護学科		
		1年	2年	1年	2年	1年	2年	
下宿	市外	1	0	2	0	0	0	
	市内	35	47	41	37	69	60	
自宅通学	市外	6	4	5	1	7	3	
	市内	5	3	3	1	6	1	
		8	4	7	0	7	3	
電車通学者数	岡山市	4	岡山市	1	岡山市	3	岡山市	2
	倉敷市	1	真庭市	1	倉敷市	2	倉敷市	4
	総社市	1	鳥取県日南町	1	総社市	1	総社市	1
	高梁市	1	広島県庄原市	1	島根県松江市	1		
	新見市	1						